

血液内科 61

プロトコール名 (1クール目)DLd療法

プロトコール

薬品名	成分名	基準値	施行日	休薬
ダラザレックス	ダラツムマブ	16 mg/Kg/day	Day 1、8、15、22	6日
レブラミド	レナリドミド	25 mg/day	Day 1-21	7日
レナデックス・オルガドロン	デキサメタゾン	40 mg/week	Day1、2、8、9、15、16、22、23	5日

< 4週 1クール >

施行日	Day 1	Day 8	Day 15	Day 22
ダラザレックス				

Day1

- ①アセトアミノフェン200mg 2錠 + レボセチリジン5mg 1錠 (ダラザレックス投与1時間前内服) *内服後すぐに点滴スタート
- ①(メイン)生食250mlにてルート確保 (点滴挿入後、フラッシュ分残す)
- ②(側管)生食100mL+オルガドロン19mg 1V (ダラザレックス投与1時間前に開始) (30分)
- ③(側管)生食50ml (30分)
- ④(側管)生食 1000mL + ダラザレックス 点滴静注 *下記表にて投与時間確認
*インラインフィルター(0.2μm)を通して投与すること
- ⑤①の生食250残液でルートを流す(全開)

Day8

Day15

Day22

- ①アセトアミノフェン200mg 2錠 + レボセチリジン5mg 1錠 (ダラザレックス投与1時間前内服) *内服後すぐに点滴スタート
- ①(メイン)生食250mlにてルート確保(点滴挿入後、フラッシュ分残す)
- ②(側管)生食100mL+オルガドロン19mg 1V(ダラザレックス投与1時間前に開始して30分で投与)
- ③(側管)生食50ml (30分)
- ④(側管)生食 500mL + ダラザレックス 点滴静注 *下記表にて投与時間確認
*インラインフィルター(0.2μm)を通して投与すること
- ⑤①の生食250mlでルートを流す(全開)

Day2、9、16、23

レナデックス4mg 錠 内服

ダラザレックスの投与速度

投与時期	希釈後の総量	投与開始からの投与速度 (mL/時)			
		0~1時間	1~2時間	2~3時間	3時間以降
Day1	1000mL				
Day8	500mL				
Day15以降	500mL				

備考